

第1次富津市地球温暖化対策実行計画 2023年度実施状況報告書

○計画の目標

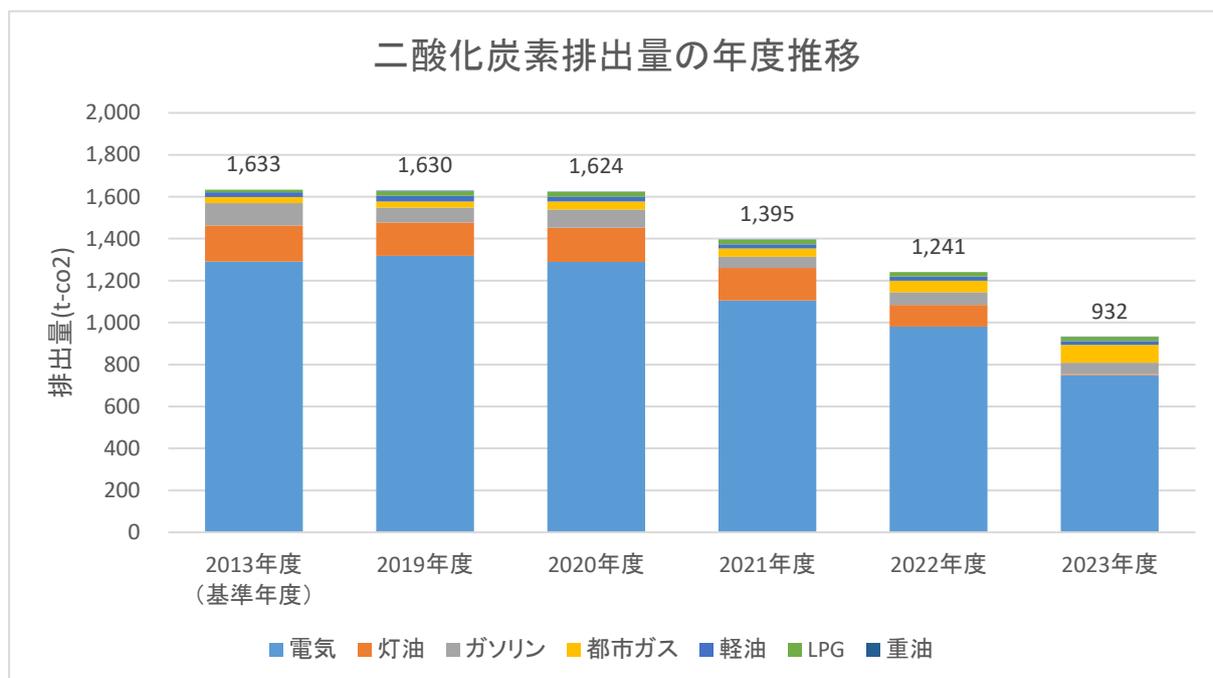
富津市では、2019年4月に「第1次富津市地球温暖化対策実行計画」を策定し、市の事務及び事業に伴い排出された二酸化炭素排出量を、2013年度を基準年度として、2019年度から2023年度までの計画期間中に年1%削減を目標とし、5年間で5%削減することを目指すこととしました。

○2023年度二酸化炭素排出量の実績

2023年度に本庁舎を含む対象施設から排出された二酸化炭素排出量は、集計の結果、表1のとおり931,932kg-CO₂となり、基準年度である2013年度の排出量1,633,413kg-CO₂と比較して701,481kg-CO₂、42.95%減（2023年度までの目標は5%削減）となりました。

表1 二酸化炭素排出量の推移

年 度	排出量 (kg-CO ₂)	基準年度比増減率	前年度比増減率
2013年度(基準年度)	1,633,413		
2019年度(計画1年目)	1,629,629	△0.23%	
2020年度(計画2年目)	1,623,913	△0.58%	△0.35%
2021年度(計画3年目)	1,395,215	△14.58%	△14.08%
2022年度(計画4年目)	1,241,042	△24.02%	△11.05%
2023年度(目標年度)	931,932	△42.95%	△24.91%



○基準年度と2022年度のエネルギー等使用量の比較

エネルギー等使用量について2022年度と基準年度を比較すると、表2のとおり都市ガス使用量は197.3%増加しました。

一方、電気使用量は12.63%、灯油使用量は96.85%、ガソリン使用量は49.15%、軽油使用量は22.52%、液化石油ガス（LPG）使用量は13.09%、減少しました。

表2 エネルギー等使用量の推移

エネルギー等	2013年 (基準年度)	2019年度 (計画1年目)			2020年度 (計画2年目)			2021年度 (計画3年目)			2022年度 (計画4年目)			2023年度 (計画5年目)		
	使用量	使用量	基準年度比 増減量	基準年度比 増減率(%)												
電気 (千kwh)	2,459.11	2,511.83	52.70	2.14	2,455.99	△3.119	△0.13	2,525.46	66.35	2.70	2,667.11	208.00	8.46	2,148.59	△310.52	△12.63
灯油 (k l)	69.4	63.8	△5.6	△8.07	65.6	△3.8	△5.48	62.3	△7.1	△10.23	41.5	△27.9	△40.14	2.2	△67.2	△96.85
ガソリン (l)	45,701.00	30,569.24	△15,131.76	△33.11	37,051.00	△8,650.00	△18.93	23,003.41	△22,697.59	△49.67	26,071.55	△19,629.45	△42.95	23,239.61	△22,461.39	△49.15
都市ガス (千m ³)	12.931	13	0.069	0.53	17.508	4.577	35.4	17.495	4.564	35.3	24.776	11.845	91.6	38.44	25.511	197.3
軽油 (l)	8,908.40	10,361.76	1,453.36	16.31	8,968.60	60.2	0.68	8,235.91	△672.49	△7.55	7,339.89	△1,568.51	△17.61	6,902.32	△2,006.08	△22.52
液化石油ガス (LPG) (千m ³)	3.951	3.629	△0.322	△8.15	3.683	△0.268	△6.78	3.495	△0.456	△11.54	3.860	△0.091	△2.30	3.434	△0.517	△13.09
A重油 (k l)	0	1.501	1.501	—	0.489	0.489	—	0.207	0.207	—	0	0	—	0.04	0.044	皆増

○基準年度と2023年度のエネルギー等使用量の考察

エネルギー等使用量について2023年度と基準年度を考察すると、都市ガス使用量の増加は、通常使用している空調の室外機（電力運転）の一部が故障したことにより、空調の冷温水発生機（都市ガス運転）の使用を増加した空調運転が要因と考えられます。

ガソリン使用量・軽油使用量の減少については、職員一人ひとりが本計画の取組みを理解、実践した成果もありますが、公用車を低燃費車に入れ替えたことも減少に寄与したと考えています。

電気使用量・液化石油ガス（LPG）・灯油の減少については、令和4年11月末での富津聖苑の廃止が大きく影響していると考えられます。

○結果

5ヶ年計画の実績は、削減率42.95%となり、年度ごとの目標である年1%を達成しました。これは、使用電力を施設の一部で、二酸化炭素排出量の少ない廃棄物発電に切り替えたことや、峰上出張所、富津・関豊連絡所及び富津聖苑の廃止が大きく影響を与えていると考えられます。

第2次富津市地球温暖化防止実行計画では、富津市の事務・事業を全て対象とし、ハード面の取組みのほか、ソフト面として職員の日常業務におけるエコ運転、節電等の省エネルギー推進の取組みにより温室効果ガス総排出量の削減に努めることとします。